

# 第8学年A組 国語科学習指導案

指導者 前嶋 洋子

1 単元 登場人物について検証しよう  
教材名 「卒業ホームラン (東京書籍)」

## 2 目標

- 作品から考えたことを伝え合う学習に関心を持ち、意欲的に作品を読もうとする。  
(国語の関心・意欲・態度)
- 作品から感じたことを伝え合うことができる。  
(話すこと・聞くこと)
- 登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。  
(読むこと)
- 人物像を表す言葉などに注意して、語感を磨く。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 児童・生徒の実態 (39名)

(平成28年6月3日実施 39名)

実態調査では、21名の生徒が登場人物の言葉や行動がどんな意味をもっているかを考えることができた。しかし、登場人物のものの見方や考え方が表れている描写に着目することができた生徒は14名であり、場面や描写を限定し、焦点化するなどの手立てが必要であることもわかった。また、意図的に自分の体験と比べたり、意見交換をしたりする場面設け、自分の考えをもてるようにしたい。

	調査内容 (本時の学習の基礎となる力)	正答者数
1	登場人物のものの見方や考え方が表れている描写に着目することができる。	14名
2	登場人物の言葉や行動がどんな意味をもっているかを考えることができる。	21名
3	話し合ったことから、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。	9名

## 4 指導観

8年生の「読むこと」では、作品に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験を生かしながら考えていくことが求められている。「卒業ホームラン」には「生きがい」や「家族」の問題が織り込まれ、登場人物を自分に置き換えて考えやすい題材である。登場人物の人物像を捉える際には、どの表現から推測したのか、根拠となる表現を明らかにしながら説明できるようにしたい。また、登場人物の性格は多面的であるので、できるだけ複数の表現に注目し、総合的に人物像を捉えていくようにしたい。自分がその人物をどう思うかを明らかにする段階では、自分の体験、ものの見方や考え方と照らし合わせて考えるようにし、肯定・否定の判断だけで済ませてしまうことのないよう留意する必要がある。

## 5 研究テーマに迫るために

本学園の国語科の8～9年の学びの系統表では、「文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てることができる」ことを目標としている。これをふまえ、本単元ではベン図を用い、共通点や相違点を意識して人物像を捉えたり、人物設定の意図に気づいたりしながら登場人物を検証することができるようにしたい。また、あくまでも表現から読み取れる客観的な視点で人物像を構築していくことができるよう、着目してほしい場面や描写を提示し、生徒の思考活動の焦点化を図りたい。

●**焦点化**

- ・場面や描写を提示し、着目する記述をしぼる。
- ・キーワードを提示し、着目する言葉をしぼる。

□**視覚化**

- ・ベン図モデルを提示し、人物像には共通点や相違点があることに気付かせる。
- ・デジタル教科書を活用し、工夫して提示することで、着目すべき表現に気付かせる。

◆**共有化**

- ・自分の考えをグループ内で発表し、一人一人の考えをグループ内で共有する。
- ・グループで検討したことを発表し合い、全体で考えを共有する。

## 6 指導計画 (6時間)

- 第1次 全文を通読し、人物の大まかな内容を把握する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- 第2次 会話や行動の描写から、登場人物の思いを捉える。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

	時	主な活動内容	観点別評価					評価の規準	評価方法
			関	話聞	読む	書く	伝統		
第2次	1	・結末の表現に込められた意味を考える。 ・四人グループを作り、それぞれの考えを述べ合う。		○	◎			作品の最後の一文に込められた主人公の思いを明らかにしている。	観察 ノート
	2	・ベン図を用い、登場人物の人物像を検証する。 ・四人グループでお互いの考えを紹介し合う。 (本時)		○	◎			根拠を明確にして人物像を捉えている。	観察 ワークシート

第3次 「字のない葉書」との読み比べを行い、共通点や相違点を見つけ自分の考えをもつ。・・・・・・・・・・ 2時間

7 本時の学習

(1) 目標

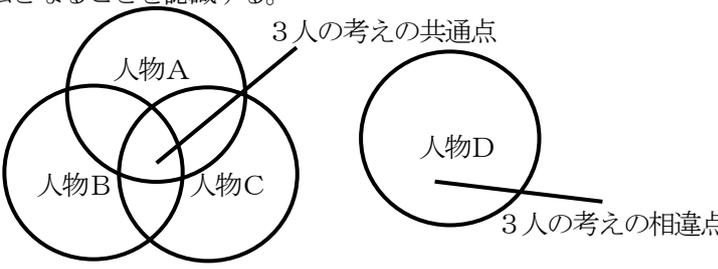
登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。

(2) 準備・資料

ベン図ワークシート、センテンスカード、キーワードカード、デジタル教科書、電子黒板

(3) 展開

(●: 焦点化 □: 視覚化 ◇: 共有化 ※: 人権教育の視点 ◎: 評価)

展開	児童・生徒の主な活動	予想される つまずき	UDの視点及び 指導上の留意点
課題把握	1 学習課題を把握する。 登場人物について分析しよう。		□デジタル教科書を活用し、前時までの学習を振り返らせ、検証する登場人物の背景に気付かせる。
課題認識	2 ベン図について知り、本文の表現をもとに登場人物を検証する方法となることを認識する。 	・人物の共通点や相違点を表現できるものがベン図であることを理解すること。	□ベン図モデルを活用し、人物Dだけが異質であることを示して、登場人物には共通点や相違点があることに気付かせる。 ・2人だけが共通するところもあることを示し、人物像の検証が深まるよう促す。
自力解決	3 センテンスカード及びキーワードカードをもとにベン図を完成させる。 (1) センテンスカードの記述から登場人物の考えとして何度か出てくる言葉を確認する。(キーワードカード「頑張る」「いいこと」「努力」「結果」「好き」など) (2) 人物A, B, C, Dを設定する。 (3) キーワードをもとに、登場人物の人物像をまとめる。	・人物像を検証するための表現や言葉に着目すること。	●センテンスカードを示して人物像が読み取れる表現に着目させ、場面や描写をしぼることで課題の焦点化を図る。 ●キーワードカード示して人物像を表す言葉に着目させ、記述内容をしぼる。
比較検討	4 完成したベン図をグループで検討し合う。 (1) 自分のベン図を見せながら、A, B, C, Dの人物像について説明する。 (2) 人物Dについては、人物A, B, Cとの相違点も含めて検討し合う。 ・Dは「いいこと」や「結果」にこだわっていない。 ・Dは純粋に野球が「好き」という気持ち。	・個々の考えに違いがあるので、意見交換が豊かになり、自分の考えが広がること。	◇自分の考えをグループ内で発表し、一人一人の考えを共有する。 ※他の人の考えをよく聞いている。
全体検討	5 グループで検討したことを全体に発表する。 (1) グループ代表者がベン図を用いて人物像について説明する。 (2) 人物Dと人物A, B, Cとの相違点を確認する。		◇グループで検討したことを発表し合い、全体で考えを共有する。 ・自分の知識や体験と関連付けながら考えるよう助言する。
まとめ	6 本時の学習を振り返る。 徹夫らは「いいこと」や「結果」を気にするが、智は「好き」という気持ちだけで頑張れる純粋な人物である。		◎人物像について自分の考えをもっている。

8 板書計画

<p>学習の流れ 課題把握● 課題認識 自力解決 比較検討 全体検討 まとめ</p>	<p>徹夫らは「いいこと」や「結果」を気にするが、智は「好き」という気持ちだけで頑張れる純粋な人物である。</p>	<p>◎ ・純粋に野球が「好き」 ・「いいこと」や「結果」にこだわっていない</p>	<p>人物Dの相違点 「いいこと」や「結果」にこだわっていない</p>	<p>キーワードカード 「頑張る」「いいこと」「努力」「結果」など</p>	<p>センテンスカード 「いいよ、だって僕野球好きだもん」など</p>	<p>ベン図モデル</p>	<p>課題 登場人物について検証しよう</p>	<p>卒業ホームラン</p>	<p>デジタル教科書 『登場人物とその関係』 『登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもとう』</p>
--	---	--	---	---	---	---------------	-----------------------------	----------------	---